

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	小中学校電子黒板整備事業		担当部署	教育委員会 教育支援室	
総合計画体系			根拠法令 計画など	IT新改革戦略 教育の情報化ビジョン	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 26 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと		終期	未定
(小項目)	教育行政				
施策	1	教育行政の充実			
基本事業	6	教育支援体制の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	市内小中学校														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	国をはじめ各自治体など全国的に教育効果があると報告されている電子黒板、デジタル教科書の導入を進め教育環境の整備を図る。また、電子黒板を活用することにより、「わかる授業」を展開し、授業の理解度の向上を目指す。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	平成26年度には各校1台の整備であったが、デジタル教科書が整備されていることから一日の授業のほとんどで電子黒板を使用する。そのため各校1台では、有効活用が非常に難しいことから小学校6年生の普通教室すべて、中学校1年生の普通教室すべてに整備できるように追加整備を行う。その学年すべての教室に整備できることで、電子黒板の移動や児童・生徒自らが教室を移動する必要もなく、学級・教科等の関係で使用が制限されることもなくなる。以上の追加整備を行うことで、電子黒板の有効活用をさらに進めることができる。また、小学校5年生、中学校2年生にも新規に各学級に導入する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子黒板、デジタル教科書整備台数</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>台</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	電子黒板、デジタル教科書整備台数	21	18	36	36	20	台
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
電子黒板、デジタル教科書整備台数	21	18	36	36	20	台										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成26年度、小中学校とも各校1台の導入であったが、平成27年度は、それぞれ小学校6年生、中学校1年生の普通教室すべてで活用できるように追加整備を行った。小学校では、市内で6台、中学校では、市内で12台追加整備を行った。学年は限られているが、すべての普通教室で整備が完了し、普段使いが可能な環境が整った。平成26年度に引き続き、各教科、各校での研修を行い、年度末には実践報告を全校より提出していただき、よりよい活用の共有を図った。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	授業での1台あたりの活用時間数(小学校)	27.6	128.7	165.6	182.2	200.4	時間
	2	授業での1台あたりの活用時間数(中学校)	22.2	94.2	133.2	146.5	161.2	時間
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	電子黒板、デジタル教科書整備台数		21	18	—	—	—	台
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	10,000	10,000
		全体予算額		0	0	0	0	10,000	10,000
		決算額		0	0	0	0	9,288	9,288
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.3	0.0	2,058		11,346			

【事務事業名：小中学校電子黒板整備事業】  
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	15,099	9,288	31,570	-	-
	うち一般財源	15,099	9,288	31,570	-	-
	人件費	2,063	2,058	2,058	-	-
	総事業費	17,162	11,346	33,628	-	-

## ◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	児童・生徒とも学習意欲が向上しており、学力向上につながっている。さらに教員にとっても授業意欲が向上しており、授業改善にもつながっている。
	効率性	B:概ね効率的だった	デジタル教科書を効率的に活用することで、児童生徒の興味や関心を引き、授業の質が高まった。
②成果に対する評価	指標名	電子黒板、デジタル教科書整備台数	平成26年度に引き続き、小学校6年生用6台、中学校1年生用12台、普通教室への追加整備を行った。よって、計画通り平成27年度、小学校6年生、中学校1年生への普通教室への整備が完了した。
	目標	18 台	
	実績	18 台	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	昨年度に引き続き、追加整備が進むことで、日常的に活用できる環境整備が整い、電子黒板を活用した授業では、児童・生徒の学習意欲が非常に高く、学力向上に結び付くと考えられる。

## ◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>小学校の電子黒板を制御するためのコンピュータは、今年度7年目になり老朽化が進んでいる。高性能な電子黒板、最新のデジタル教科書を導入してもコンピュータの動作が追いつかず、授業展開に支障をきたすこともある。そのため、これらのコンピュータの更新が必要である。</p> <p>また、小学校6年生、中学校1年生に追加整備を進め全普通教室導入が完了するが、他学年の教職員や児童・生徒、保護者からの要望も強く、早期の導入拡充が課題となっている。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	整備を拡充し、小学校5年生用、中学校2年生用の電子黒板・デジタル教科書の整備を行い、学力向上に取り組む。また、インターネット回線の高速化、コンピュータの整備などを進め、電子黒板を使った授業が快適に進めることができるように周辺整備を進める。			
	平成29年度	これまでの整備の成果を踏まえ、他学年への整備拡充を進める。			